

MHIの浅田氏が資料 39-2(韓国衛星の打上)を2分程で説明した後、5分余の質疑応答があった。

松尾委員長:最優先交渉事業者とは、如何なる権利、義務を伴うものなのでしょうか。実際は、

MHI浅田:ええと、訳が一寸難しかったです、元々の提案要請の紙には、指名した後にですネ、此方の提案書の中に彼らの要求を全て満足してる訳ではありませんで、交渉で決めさして下さいと云う項目がありますので、まあ、其の交渉内容によって最終的に決定すると云う事です。ええと、大体此の商業衛星打上げの業界では、大体斯う云うやり方が普通のやり方、標準になってまして、先ず交渉相手を決めて、交渉が成立すれば正式に契約と云うのが、通常のやり方で御座います。

松尾委員長:どうぞ。

池上:あの、非常に喜ばしい事ではありますが、一番最初が相乗りと云う事ですネ、其の辺は上手く斯う、JAXAの衛星との調整が必要になって来る訳ですよネ。まあ、今後の話なんです<sup>1</sup>。あの、そう簡単ではない様な感じもするけれど、是非成功させて頂きたいと思えますけど、何か其の辺でコメント御座いますか。

<sup>1</sup> 話の初めからJAXAに協力頂かなければ何一つ進まないだろう。軌道条件の近い衛星を相手に選ぶ必要があるので、其処への相乗りを申請しなければならぬ。決して今後の話ではないと思う。

MHI浅田:有難う御座います。あの、提案に当たってはJAXAさんから全面的な協力を頂いて居りまして、此れからも緊密に連携取ってやってきたいと思えます。あの、新聞によっては、どの衛星だと明確に示して居りますが、私の口からは一寸言えませんので。

森尾:ええと、多分実現すれば、初めて外国の衛星を日本で打上げると云うケースですネ。

MHI浅田:正確に言いますと、民間業者が受注した外国衛星と云うのでは初めてですが、此れ迄H-、H-Aでは外国の衛星は上げてる実績は有ると思えます。

森尾:あの、此れ、輸入関税とか消費税ってどう云う扱いでしたっけ。此れはお役所の方に聞いた方が良いのかな。

MHI浅田:あのですネ、一旦消費税は払いますが、輸入消費税ですネ、払いますが打上げた時に返して頂く、還付される事になって居りますが、我々としては其の手続きが非常に面倒なので、其の手続きを省略して頂ける様をお願いしてる処です。

青江:規則化したんじゃないかなったっけ、其れは、一昨年位に。そう云う風なのを。其れはもうスキップして宜しいよと。云う事に変わってなかったっけ。

MHI浅田:ええと、未だ、あの、実際に斯う云う事象は無かったので、はい、あの、一寸私の記憶間違いかも知れませんが、ええ、打上げ輸送サービスにつきましては、海外への輸送だと云う事で免税となって居りますが、此の衛星に関しては、一寸済みません、完全に解決したかどうか。調べます。は

い。

松尾委員長:此の中で新聞報道より詳しい部分てのは何処になりますか？

MHI浅田:申し訳ありません。新聞報道の方が、あ、詳し、新聞報道はですネ、あの、正式に私共で表明した訳ではありませんで、特にですネ、あの、費用の面だとか、打上げ時期に関しては憶測で書かれていますので、其の点は。

青江:後学の為に聞きたいんですが、Compsat 1、2は何で上げたんですか、夫々。

MHI浅田:基本的にロシアのロケットだと思っますネ。

青江:(マイクを通さないので聞こえない)

MHI浅田:済みません。これも正確じゃないんですが、少なくとも今回の競争相手はロシアでしたし、以前はどちらか一方はロシアのロケットです。

青江:今回の競争相手はロシアの何ロケットなんですか？

MHI浅田:これは、報道によりますと、我々はホント知る立場にないんで、報道によりますとロケットですネ。

中川課長:あの、KARI の発表文で、「ロシア・ドイツの合弁会社の」と云うのがありますので、まあ、其処から想像するとロケットだろうと云う事。それから1号2号はムニャムニャ。

事務局:手元の資料によりますと、Compsat 1号につきましてはトラス、Compsat 2号につきましてはロケットと云う情報、手元に御座います。

青江:良く分かりました。

松尾委員長:此処迄にします。

【議題(2)】韓国実用衛星のH-Aロケットによる打上げについて

中川課長:あの、MHIさん、先程、あの、より正確に、多分、此れあの森尾先生のご質問で、我が国初の民間の商業打上げになるかどうかは、あの、多分三菱さんは、更に、2011年と云わず、もっと早く有ればご努力をされてると云う事なので、**此れが初になるかどうか、もっともってご努力をされてる<sup>2</sup>**と云う理解で宜しいでしょうか。

誰か:(小声で)はい。

松尾委員長:どうも有り難う御座いました。それでは最後の議題です。(以下省略)

---

<sup>2</sup> 商業打上げを其れ程まで夢中になって進めなければならないのだろうか。基本法でも触れている、「アジア外交の手段としての価値」は有るが、経済的効果を期待するほどの需要は無い。また、韓国は衛星開発から宇宙への取り組みを開始したが、打上げロケットの開発も進めている。長期的なユーザでもないと思う。